

北海道大学大学院環境科学院 環境起学専攻
実践環境科学コース

平成 31 年度 4 月入学大学院修士課程入学試験問題(秋季入試)

専門科目

【開始の指示があるまで、この問題冊子を開いてはいけません】

- この冊子は 4 頁ある。
- 1 問につき 1 枚の答案用紙を使用すること。
- 答案用紙の表に書ききれない場合は裏を使用すること。
- 答案用紙には科目名と問題番号を記入すること。

平成 30 年 8 月 23 日

小論文

小論文は2問ある。問1および問2に解答せよ。

問1

あなたが行ってみたい「**提案型インターンシップ**」の具体的な案を一つ考え、a)、b)、c)で指示された事項を中心に論理的に記述せよ。

- a) 提案型インターンシップの内容と目的
- b) 環境科学もしくは持続可能性としての意義
- c) 配慮すべきことや、予想される問題点および対処方法

なお、提案型インターンシップとは、あなたが**数ヶ月～半年間程度**かけて「持続可能な社会づくりにかかわる**企画を現場に提案し、議論を重ね、現場の人とともに実施する**」ものです。この提案を入学してから行う必要はありません。

問 2 下記の(2A)、(2B)、(2C)のうち、1つを選択し、解答せよ。

(2A) 2015年国連総会で採択した「我々の世界を改革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ」の前文には、「5つのP」とよばれる、人間(People)・豊かさ(Prosperity)・地球(Planet)・パートナーシップ(Partnership)・平和(Peace)という5つの要素が挙げられている。これらの要素は、持続可能な開発目標(SDGs)の17目標に包括的な視点を与える。

- (i) 5つの要素の関連性について、論理的に記述せよ(4-8行程度)。なお、各要素を初めて用いる際には、各要素に下線を引くこと。
- (ii) 表1から3つの目標を選び、各目標について、上の5つの要素と関連づけて、論理的に記述せよ(各4-8行程度)。なお、各目標に全ての要素を明記する必要はない。また、記述する際に、目標の番号を用いてよい。

表 1: 2030年までの持続可能な開発目標の17目標

① 貧困をなくそう	⑩ 人や国の不平等をなくそう
② 飢餓をゼロに	⑪ 住み続けられるまちづくりを
③ すべての人に健康と福祉を	⑫ つくる責任 つかう責任
④ 質の高い教育をみんなに	⑬ 気候変動に具体的な対策を
⑤ ジェンダー平等を実現しよう	⑭ 海の豊かさを守ろう
⑥ 安全な水とトイレを世界中に	⑮ 陸の豊かさも守ろう
⑦ エネルギーをみんなに そしてクリーンに	⑯ 平和と公正をすべての人に
⑧ 働きがいも 経済成長も	⑰ パートナーシップで目標を達成しよう
⑨ 産業と技術革新の基盤をつくろう	

(2B) 新しい学習指導要領による学校教育が、2020年度から順次実施される。学校教育として、「子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力」がより求められている。2030年までの持続可能な開発目標(SDGs)でも、目標4として教育が位置づけられている。以下のキーワード群からキーワードを7つ以上用いて、新しい学習指導要領について、(i)「学習指導要領の特長」、(ii)「SDGsで求められる教育との関係」、および、(iii)「実施に向けた課題」を論理的に記述せよ(各5-10行程度)。キーワードを初めて用いる際には、キーワードに下線を引くこと。

キーワード群：生きる力、主体的・対話的で深い学び、基盤となる資質・能力、学習の意義、探究、教育実践、カリキュラム・マネジメント、教科等横断的な学習、社会に開かれた教育課程、教員の負担、高大接続、ポートフォリオ、国際バカロレア(IB)、知の理論(TOK)、総合的な学習の時間、生涯学習、開発教育、理数教育、持続可能な開発のための教育(ESD)、人材育成、高等教育機関

(なお、これらのキーワードの下線の部分のみを解答に使用して良い)

(2C) 平成30年版 環境・循環型社会・生物多様性白書では、下に示す枠線で囲んだ記述がある。

(i) 図 1-1-5 にもとづいて、「森林減少は、南米やアフリカで大きくなっており」と記述されていること

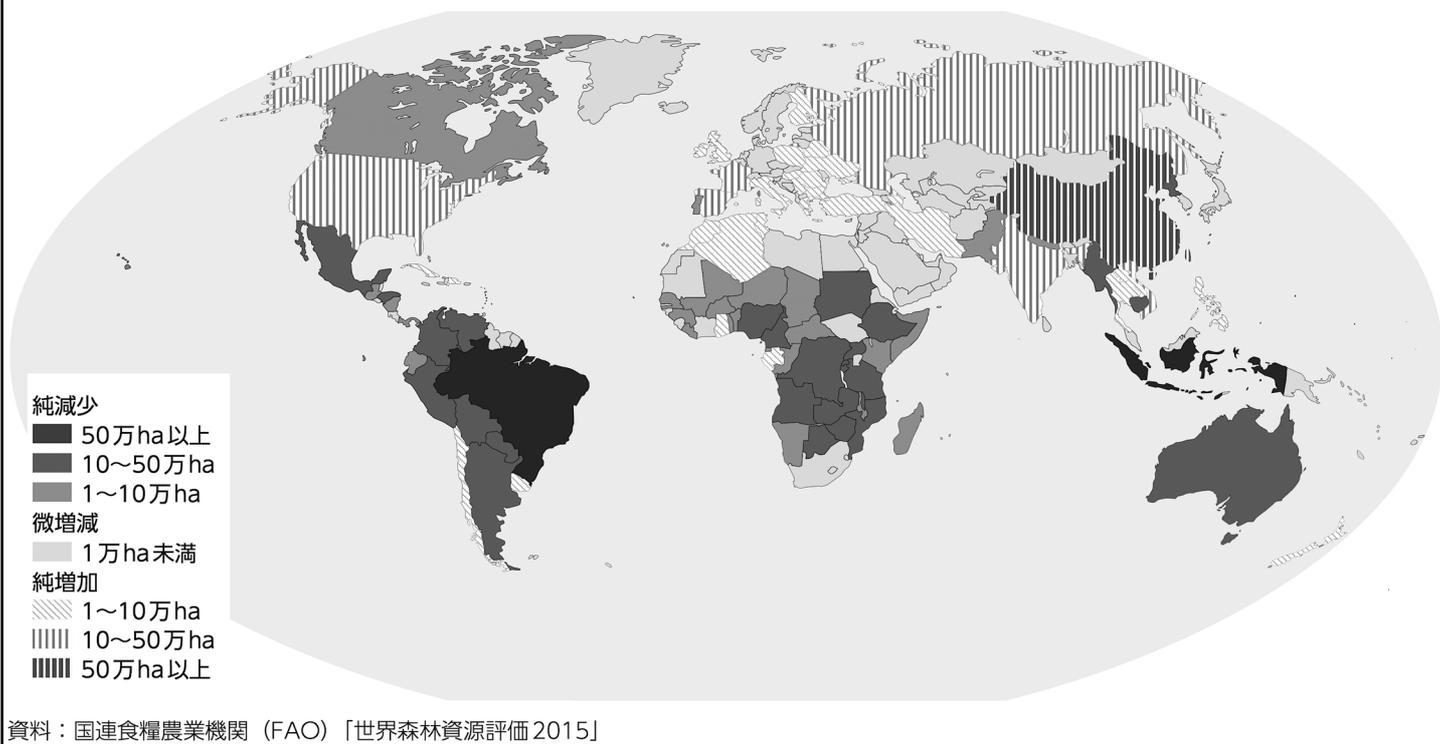
(ii) 「森林が約 1 億 2,900 万 ha 減少していることが図 1-1-5 から読み取れないこと」および「その原因」

について、あなたの解釈や考えを論理的に記述せよ((i)5-10 行程度、(ii)12-24 行程度)。

4)土地利用の変化

世界の森林面積は約 40 億 ha で、世界の陸上面積の約 3 割が森林で占められています。国連食糧農業機関(FAO)によると、1990 年から 2015 年までの 25 年間で、日本の国土面積の 3.4 倍に当たる約 1 億 2,900 万 ha の森林が世界で減少しています(図 1-1-5)。一方、その減少速度は、1990 年代の年率 0.18%から、2010 年から 2015 年までの 5 年間においては 0.08%まで低下してきています。森林減少は、南米やアフリカで大きくなっており、人口増加や貧困、商品作物の生産拡大等を背景として、森林から農地への転用等が主な原因とされています。

図1-1-5 1990年と2015年を比較した森林面積の増減(国別)



平成 30 年版 環境・循環型社会・生物多様性白書(環境省, 2018)より 図中の表記も含めて文字情報は修正していない。

【問題冊子はこちらまで】